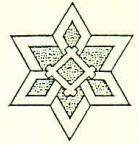


# ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和6年7月19日発行

(本年度5号)



城北中学校区小中一貫教育

自らの未来を切り開く「生きる力」

## 1 学期終業式...楽しい夏休み

梅雨のムシ暑さが続く学期末でしたが、福井っ子は元気いっぱい、しっかり遊んでしっかり勉強し1学期を終える事ができました。

4月の参観日・PTA総会では、多くの保護者の皆様に授業を参観していただき、各教室をリモートでつなぐPTA総会も定着。スムーズに運営ができました。5月の6年生修学旅行では、1泊2日で奈良・大阪・兵庫を訪れ

古都の歴史や防災の大切さを学びました。また、アクティブな活動も多く、楽しい思い出になりました。学校の玄関前では、朝顔が咲き万願寺、キュウリ、ミニトマトなどが実り、ジャガイモ、サツマイモ、ゴーヤなども順調に育っています。3年生が植えたフジバカマもよく根付き秋口の開花が楽しみです。舞鶴市小学生陸上競技大会では、参加選手が「自己ベスト」を目指して活躍し、多くの優勝や入賞を果たしました。

様々な行事に取り組んだ1学期でしたが、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力により無事終業式を迎えられました。ありがとうございました。

今年オリンピック・パラリンピックイヤー。第33回大会は、フランスのパリで開催されます。パリでは1900年(第2回)と1924年(第8回)と2024年(第33回)で、3回目の開催となります。今回はセヌ川での開会式が話題を呼んでいます。スタジアム以外で開会式が実施されるのはオリンピック史上初。その他にも歴史的遺産が多数存在するパリの特徴を生かす工夫がされています。例えば、セヌ川では開会式以外にトライアスロンなどいくつかの水泳競技が予定されている他、エッフェル塔でのビーチバレーやコンコルド広場でのブレیکن、3×3、スケートボード…。ベルサイユ宮殿やグラン・パレなどパリの名所旧跡を間近に感じられる競技会場となっています。

「母なる川」としてパリ市民に愛されるセヌ川は、2400億円超とも言われる費用をかけ、川を美しくする事業が進められています。その昔は川遊びや水泳、日光浴などとても身近な川で、1900年の第2回大会では水泳競技の会場でもありました。しかし、街が大きくなるにつれ、工場や家庭の排水などが川に直接流されていたため、水質汚染が悪化し1923年から遊泳禁止になっています。さらに下水施設の老朽化によって雨水や下水が川に流れ多量のバクテリアが発生。生き物が住めない川になってしまいました。

そこで、2015年にパリ遊泳計画として「2024年までに人が泳げる川にする」を目標に、毎日川底から1~2トンものゴミを回収したり、巨大な貯水槽の建設や下水施設の改善をしたりと、川の浄化作戦が実施されました。その結果、生き物がほとんどいなかった川は36種類もの魚が生息するまでになり、オリンピックだけでなく、未来を見越したセヌ川の再生が進んでいます。しかしまだ問題も多く本当に選手が安全に泳げる川になるのか心配です。政治・経済にも影響が大きいオリンピックですから在り方をめぐる賛否が渦巻くのも当然です。また、巨額の資金を投じて開催する価値を議論すればキリがなく、今回も厳しい意見が多々あります。しかし、オリンピックは128年に渡り人間の知恵を集め最新の技術と人々の情熱によって引き継がれてきました。純粋にスポーツの祭典としての成功を祈りつつ、トップアスリートの活躍を楽しみにしたいです。

明日から40日間の夏休みが始まります。子ども達には何か一つ「チャレンジ」して新しい自分を発見しようと話をしました。夏休みはつつい気が緩みがちになりますが長期休みだからこそ「チャレンジ」できる事もたくさんあります。目標をもって自分を律し有意義な夏休みを過ごせるよう、お声掛けをお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同

